

○減災対策協議会規約第4条に則り、協議会の場において「地域の取組方針」にもとづく対策の実施状況のフォローアップを実施する必要がある。

○構成員を対象とし、昨年10月に実施したアンケート調査により確認された取組の進捗状況の概要は以下の通り。

※詳細は別紙(フォローアップ用シート)参照

- ◆ 必要な世帯に対する防災行政無線 **戸別受信機**や**防災ラジオ等の配布は完了した**
  - ◆ 大半の取組は **定着し継続的に実施**すれば良い状態になっている
  - ◆ 一方、以下の取組については **更なる推進が必要**
    - ◇ (夜間急増水対応) タイムラインの作成・これを活用した構成員の合同訓練、
    - ◇ 想定最大規模の洪水での隣接市町村間の避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知 など
- なお、**水害ハザードマップの公表状況**他は以下の通り

市町	水防法14条の1 浸・想区域指定 (公表年月)	水防法第15条 ※1 水害ハザードマップ	水防法第15条の3 ※2 要配慮者利用施設	水防法15条の11 ※3 水害実績の周知	備考 ※4
気仙沼市	大川 (2020.5)	○	-	-	河川：122 (86) その他： 6(4)
	鹿折川(2020.5)				
南三陸町	-	-	-	-	-

※1 二重丸は想定最大規模降雨対応

※2 避難計画作成済施設数/対象施設数 (圏域外を含む) 河川データブック2020より

※3 洪水予報河川・水位周知河川以外の河川で円滑かつ迅速な避難を確保することが特に必要と認める河川 河川データブック2020より

※4 令和元年東日本台風時の圏域内浸水戸数 (同左床上浸水外) 令和元年 水害統計調査調査員調査票より集計

1) ハード対策の主な取組

■洪水を安全に流すためのハード対策

具体的な取組	取組機関		H30	実施内容	H31	実施内容	R2	取組内容（予定）
<青野沢川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<只越川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<鹿折川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<大川*> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<面瀬川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<沖ノ田川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<津谷川*> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事，河川整備工事により実施。	継続実施	災害復旧工事，河川整備工事により実施。	継続実施	災害復旧工事，河川整備工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<馬籠川> ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<外尾川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<伊里前川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<港川> ・堤防整備 ・河道掘	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<稲淵川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<桜川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<新井田川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<八幡川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<水尻川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<折立川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<西戸川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<水戸辺川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			
<長清水川> ・堤防整備	県	目標	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
		実績	継続実施		継続実施			

\*支川を含む

■危機管理型ハード対策

具体的な取組	取組機関		H30	実施内容	H31	実施内容	R2	取組内容（予定）
・堤防天端の保護	県	目標	継続実施	災害復旧工事を実施。	継続実施	災害復旧工事を実施。	継続実施	災害復旧工事を実施
		実績	継続実施		継続実施			

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

具体的な取組	取組機関		H30	実施内容	H31	実施内容	R2	取組内容（予定）
雨量水位等の観測データおよび洪水時の状況を把握・伝達するための危機管理型水位計，河川監視用カメラ等の基盤整備 簡易な水位情報として、危機管理型水位計を整備：松川，八瀬川，津谷川，馬籠川，八幡川，折立川，西戸川	県	目標	継続実施	松川，八瀬川，津谷川，馬籠川，八幡川，折立川，西戸川にて設置完了 水尻川，水戸辺川にて設置予定。			継続実施	水尻川，水戸辺川に危機管理型水位計を設置予定。
		実績	継続実施					
河川監視用カメラ：大川，鹿折川		目標	完了	大川(大川本町)，鹿折川(鹿折大橋)設置完了				
		実績	完了					
住民が日頃から水位を認識しやすいよう、橋脚や護岸へ水位表示板を整		目標	完了		実施	鹿折川(鹿折大橋)へ設置を計画		

備		実績	完了					
庁舎や排水機場等の耐水性の確認・耐水化	県	目標	継続実施	庁舎の非常用電源等を確認	継続実施	庁舎の非常用電源等を確認	継続実施	庁舎の非常用電源等を確認
		実績	継続実施					

2) ソフト対策の主な取組

①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの取組

■洪水時等の速やかな情報伝達及び避難計画等に資する取組

具体的な取組	取組機関		H30	実施内容	H31	実施内容	R2	取組内容(予定)
避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	県	目標	継続実施	大川(大川本町)鹿折川(鹿折大橋)でH29.6.1運用開始	継続実施	連絡体制を確認・運用していく	継続実施	連絡体制を確認・運用していく
		実績						
	気仙沼市	目標	継続実施	県が作成したタイムラインを運用	継続実施	県が作成したタイムラインを運用(平成29年6月に作成済)	継続実施	連絡体制を確認・運用していく
		実績	継続実施					
ホットラインの構築 毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	県	目標	継続実施	大川(大川本町)鹿折川(鹿折大橋)でH29.6.1より運用済み	継続実施	連絡体制を確認・運用していく	継続実施	連絡体制を確認・運用していく
		実績	継続実施					
	仙台管区 気象台	目標	継続実施	気象台から市町村担当者へのホットラインを4回実施した。気仙沼・南三陸圏域内の市町村へは2回実施。	継続実施	引き続き、重大な災害が予想されるような状況において実施する。	継続実施	引き続き、重大な災害が予想されるような状況において実施する。
		実績	継続実施					
	気仙沼市	目標	継続実施	県が構築したホットライン及び気象庁とのホットラインを運用	継続実施	構築済。県が構築したホットライン及び気象庁とのホットラインを運用 令和元年台風19号、10月12日・13日に宮城県気仙沼土木事務所と通信	継続実施	連絡体制を確認・運用していく
		実績	継続実施					
南三陸町	目標	継続実施	気象台～町長、係間のホットラインの運用	継続実施		継続実施		
	実績	継続実施						
水位周知河川の追加指定	県	目標	継続実施	検討準備		追加検討を実施予定	継続実施	津谷川を水位周知河川へ追加
		実績	継続実施					
市町村の役場等に係る河川について、簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供 毎年、協議会において水害危険性の周知の実施状況を確認	県	目標	順次実施	県HPや宮城県土木部総合情報システムにより浸水想定・水位情報を公開。	順次実施	継続して水害に関する情報を公開していく。	順次実施	継続して水害に関する情報を公開していく。
		実績	順次実施					
	気仙沼市	目標	順次実施	市HPに河川水位情報等の入手先をまとめた「防災・災害情報」ページを作成し公表	順次実施	情報提供中。市HPに河川水位情報等の入手先をまとめた「防災・災害情報」ページを作成公表。	順次実施	市HPに継続公表中。
		実績	順次実施					
	南三陸町	目標	順次実施	危機管理型水位計の設置要望	継続実施	危機管理水位計未整備につき実施見送り。	継続実施	対象となる2河川(水尻、水戸辺川)を町HPにて公開予定。
		実績	順次実施					
ダム情報も含めた防災情報を集約したポータルサイトの整備(宮城県土木部総合情報システムを運用中)	県	目標	継続実施	宮城県土木部総合情報システムを運用	継続実施	宮城県土木部総合情報システムを運用。スマートフォンサイトの開設。	継続実施	市町村防災担当者及び一班向け
		実績	継続実施					
プッシュ型の避難勧告等の情報発信(緊急速報メールや登録制メール、Lアラート等の活用)	気仙沼市	目標	継続実施	プッシュ型の伝達手段(防災行政無線、緊急速報メール、登録制メール、Lアラート)に加え、プル型の伝達手段(市HP、SNS、コミュニティFM)を活用し情報を発信	継続実施	当期は実績なし(発信のための多様な情報基盤は整備済)防災行政無線、緊急速報メール、登録制メール、Lアラートのプッシュ型に加え、市HP、SNS、コミュニティFMを活用し情報発信。	継続実施	継続実施予定
		実績	継続実施					
	南三陸町	目標	継続実施	避難勧告等の発令なし 防災訓練で使用確認	継続実施	台風19号の際に情報発信を実施(防災行政無線の他、南三陸町防災ツイッターによる発信環境は整備済)	継続実施	
		実績	継続実施					
防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布	気仙沼市	目標	継続実施	難聴地域の方を対象に戸別受信機の無償貸付を実施	継続実施	難聴地域の2,688戸に戸別受信機を無償貸付		継続実施予定
		実績	継続実施					
	南三陸町	目標	継続実施	防災行政無線戸別受信機の更新	継続実施	特になし(戸別受信機の更新は平成30年度に済)		
		実績	継続実施					
要配慮者利用施設の管理者への説明会・出前講座等の実施	県	目標	継続実施	県ホームページで出前講座を受付	継続実施	引き続き出前講座を受付・実施していく。	継続実施	
		実績	継続実施					
	仙台管区 気象台	目標	継続実施	要配慮者利用施設の管理者への説明は行っていない。出前講座については要望がある都度実施している。	継続実施	自治体や関係機関等が主催する要配慮者利用施設の管理者への説明会等に出席する。 出前講座については要望に応じて対応する。	継続実施	
		実績						
要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の促進 避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況について、毎年、協議会の場において進捗状況を確認	県	目標	順次実施	要配慮者利用施設の避難確保計画策定支援に向け、関係機関への説明・ヒアリングを実施。	順次実施	関係機関への情報提供や、施設向け講習会を開催していく	順次実施	
		実績	順次実施					
	気仙沼市	目標	順次実施	地域防災計画修正準備	順次実施	地域防災計画の修正準備。防災ワークショップ開催し、防災マップづくり演習による避難計画作成の促進。津波総合防災訓練の一環として、福祉避難所開設・運営訓練の実施。	順次実施	地域防災計画改訂予定
		実績	順次実施					
	南三陸町	目標	順次実施	土砂法の規定に該当する要配慮者利用施設(慈敬園)については、避難計画作成及び訓練実施について確認	継続確認	住民参加型の点検・訓練は実施見送り。	継続確認	
		実績	実施					
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	仙台管区 気象台	目標	継続実施	機会があることに、避難情報の参考となる気象情報の入手方法や利用方法について説明を行った。	継続実施	引き続き、気象情報の入手方法や利用方法について説明を行う。	継続実施	引き続き、気象情報の入手方法や利用方法について説明を行う。
		実績	継続実施					

2) ソフト対策の主な取組

①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの取組

■平時における住民等への周知・防災教育・訓練に関する取組

具体的な取組	取組機関		H30	実施内容	H31	実施内容	R2	取組内容(予定)
--------	------	--	-----	------	-----	------	----	----------

想定最大規模降雨による浸水想定区域図、時系列洪水氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	県	目標 実績	完了 完了	大川・鹿折川の浸水想定区域図の作成を開始。	完了	6月末までに大川・鹿折川の浸水想定区域図を公表。		
想定最大規模の洪水での隣接市町村間の避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知 協議会の場を活用し、優良事例を紹介	気仙沼市	目標 実績	順次実施 -	-	順次実施 順次実施	大川・鹿折川の想定最大規模降雨による浸水想定区域図等公表後、R2年度ハザードマップの作成・周知を行う。	順次実施	今年度実施予定。
ホットライン・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練の実施および見直し	県	目標 実績	順次実施 順次実施	大川を対象に、タイムラインに基づいた洪水対応演習を実施。	順次実施	鹿折川を対象に、タイムラインに基づいた洪水対応演習を実施。	順次実施	継続実施予定。
	仙台管区 気象台	目標 実績	継続実施 継続実施	宮城県内の自治体が主催する訓練に参加した。	継続実施	自治体が主催する訓練に参加する。	継続実施	自治体が主催する訓練に参加する。
	気仙沼市	目標 実績	順次実施 順次実施	県が実施した洪水対応演習（情報伝達訓練）に危機管理監が参加	順次実施 順次実施	鹿折川を対象に5月10日に洪水対応演習を実施。	順次実施	継続実施予定。
	気仙沼市	目標 実績	順次実施 順次実施	共同点検や避難訓練実施の検討	順次実施 順次実施	8月8日に消防団員が参加した大川・面瀬川合同巡視を実施。	順次実施	継続実施予定。
水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	南三陸町	目標 実績	順次実施 実施	荒町地区行政区長と西戸川の状況について確認した結果を、31.2.5登米市で実施された土砂災害防止に関する意見交換会において確認。	順次実施 順次実施	住民参加型の点検・訓練は実施見送り。	順次実施	
	県	目標 実績	継続実施 継続実施	過年度の主な水害記録を県HPで公開。	継続実施	引き続き県HPで公開し、実績に応じて更新していく。	継続実施	引き続き県HPで公開し、実績に応じて更新していく。
各構成員が保有する浸水実績に関する情報を共有 市町村において速やかに住民等に周知	気仙沼市	目標 実績	順次実施 順次実施	浸水被害状況等を市HPに掲載	順次実施 順次実施	浸水被害状況等を市HPに掲載。 市政懇談会（8地区）で台風19号による冠水状況の報告。	順次実施	必要に応じ順次実施予定
	南三陸町	目標 実績	実施 実施	当町における過去の浸水実績は近年では台風18号による西戸川の氾濫であり、土砂災害住民説明会及び区長宅訪問により周知	順次実施 順次実施	インターネットを通じての周知は実施見送り。	順次実施	
	県	目標 実績	継続実施 継続実施	県ホームページで出前講座を受付・実施	継続実施	引き続き出前講座を受付・実施	継続実施	継続実施予定。
小中学校等における水防災教育・出前講座等を活用した講習会等の実施 平成30年度末までに、国の支援により作成した指導計画を協議会の関連市町村における全ての学校に共有	仙台管区 気象台	目標 実績	継続実施 継続実施	平成30年度は実施していない	継続実施 継続実施	要望に応じて参加する。	継続実施 継続実施	要望に応じて参加する。
	気仙沼市	目標 実績	継続実施 継続実施	小中学校及び自治会等で防災講座を実施	継続実施 継続実施	小中校及び自治会等で防災講座を実施	継続実施	継続実施予定。
	南三陸町	目標 実績	継続実施 実施	水防災に特化せず防災全般にわたる教育を地域の消防署と協力し行っている。	継続実施 継続実施	水防災に特化せず防災全般にわたる教育を地域の消防署と協力し行っている。	継続実施	継続実施予定。
	県	目標 実績	継続実施 継続実施	資機材（おの、なた等）灯等の購入、吸着剤等の在庫確認の実施	継続実施 継続実施	資機材（おの、なた等）灯等の購入、吸着剤等の在庫確認の実施	継続実施 継続実施	継続実施予定。

2) ソフト対策の主な取組

②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

具体的な取組	取組機関	H30	実施内容	H31	実施内容	R2	取組内容（予定）	
関係機関が連携した水防訓練・水防団等同士の連絡体制の再確認の実施	気仙沼市	目標	順次実施	各種会議等において連絡体制を再確認	順次実施	毎月1日無線訓練を実施。	順次実施	継続実施予定。
		実績	順次実施		順次実施			
水防団等の募集・指定を促進	気仙沼市	目標	順次実施	市広報紙、消防団広報紙等で団員募集	順次実施	市の広報紙等で募集。	順次実施	継続実施予定。
		実績	順次実施		順次実施			
重要水防箇所の合同巡視	県	目標	順次実施	気仙沼市3箇所、南三陸町10箇所を実施。	継続実施	気仙沼市、南三陸町の水防部局と合同で実施予定。	継続実施	継続実施予定。
		実績	順次実施		継続実施			
	気仙沼市	目標	順次実施	重要水防箇所の合同巡視に参加	順次実施	8月8日に気仙沼土木事務所や消防団等との大川・面瀬川合同巡視を実施。	順次実施	継続実施予定。
		実績	順次実施		順次実施			
南三陸町	目標	順次実施	気仙沼土木事務所との合同巡視を実施	順次実施	気仙沼土木事務所と合同で実施。	順次実施	継続実施予定。	
	実績	実施		順次実施				
水防資機材の保有状況の確認	県	目標	継続実施	資機材（おの、なた等）灯等の購入、吸着剤等の在庫確認の実施	継続実施	資機材（おの、なた等）灯等の購入、吸着剤等の在庫確認の実施	継続実施	継続実施予定。
		実績	継続実施		継続実施			
	気仙沼市	目標	継続実施	春と秋に機械器具点検を実施	継続実施	月2回の団員による点検のほか、11月、3月に消防団幹部による資機材等の機械器具点検の実施。	継続実施	月2回の団員による点検のほか、11月、3月に消防団幹部による資機材等の機械器具点検の実施。
		実績	継続実施		継続実施			